

国家試験勉強中の学生さん（他大学の学生さんです）から、以下のような御質問をいただきました。

管理人には回答する能力がないために、回答文は書けませんが、勉強中の他の学生さんの参考になるかも知れませんので、あえて紹介させていただきます。私たちのブログを真剣にみてくださっている、しかも大変に勉強熱心な学生さんのようで、嬉しく思いました。

2

- 4) 顆粒の色で判断するのは、如何でしょうか。
- 7) 1万以下と2万以下で、臨床的に問題となる出血頻度に差が無いことを示す論文もあるようですが如何でしょうか。
- 8) LDは如何でしょうか。
- 10) 私たち学生には厳しい問題のように感じました。

4

- 1) 「しばしば」が間違いなののでしょうか。悩ましい問題のように感じました。
- 4) 血漿鉄消失率は教科書に記載はみられますが、測定している施設はほとんどないのではないのでしょうか。貴科では測定されているのでしょうか。
- 5) 「まず」が間違いなののでしょうか。悩ましい問題のように感じました。

5

- 5) 1週間目が、移植から1週間後（day 7）を指すのか、1週目（day 1）を指すのか分かりにくいと思いました。
- day 7なら、ドナー好中球は検出されることはありうると思っていました。

6

- 2) 学生でも知っていた方が良いでしょう。
- 5) これは正しいのではないのでしょうか。2-10年後に発症し、平均6年と言われている報告もあるようです。

<http://www.eisai.jp/medical/useful/consult/vol54/no561/10.html>

7

- 4) 鉄芽球性貧血の大半が同種造血幹細胞移植を受けるのでしょうか。
- B6 大量投与は如何でしょうか。
- 同種造血幹細胞移植が第一選択なののでしょうか。以下のようなサイトもありました。

<http://www.nanbyou.or.jp/entry/516>

<http://merckmanual.jp/mmpej/sec11/ch130/ch130c.html>

8

2) 学生でも知っていた方が良いでしょうか。

4) もっと高いということでしょうか。細かな治療成績は、学生にはきついと思いました。

10

2) は本当でしょうか。

腹部エコーは、不正解なのでしょうか？

11

3) 「大幅」が間違っているのでしょうか。それなりに改善していると思っ  
ていました。

35

c : 学生には厳しいように感じました。

30 : 本当でしょうか。

27

4) UV が白血病のリスクを高める可能性はあるらしいという報告もあるよ  
うですが、如何でしょうか。

<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/21665065>